

## 別添1 御殿場市児童相談システム 機能要件適合表

機能の実現可否について、以下の区分で機能確認欄に記入すること。記入なしは不可と判断します。

「○、△、□」のいずれかを選択した場合、提案書に画面イメージや運用フローを記載すること。

- ◎ 提案パッケージシステムで実現可能(稼働実績あり)
- 提案パッケージシステムで実現可能(稼働実績なし)
- △ カスタマイズで実現可能
- 代替案で実現可能
- × 実現不可

No.	分類	評価基準	必須	提案者記入欄	
				機能確認	備考
1	システム要件	製品品質信頼性の観点から現時点で複数自治体で稼働実績のあるパッケージシステムであること。	○		
2	システム要件	データ保全の観点から、前日のデータバックアップの結果が通知されること。	○		
3	システム要件	帳票は全てMicrosoft Office Excelで出力できること。	○		
4	トップ画面	ログインしたユーザー自身の訪問面談などの支援スケジュールが確認できること。また、月間スケジュールや他のユーザーの支援スケジュールも確認できること。	○		
5	トップ画面	児童の異動情報や出産予定が近い特定妊婦、サポートプラン見直し時期になるケースなど表示できること。	○		
6	トップ画面	特定妊婦ケースの場合、出産予定日の近い順に通知表示されること。			
7	検索、CSV出力	どこの画面からも基本情報だけでなく、全ての経過記録やシステムに添付しているエクセルやワード内に記載されている文字も含めて全文からフリーワード検索できること。	○		
8	検索、CSV出力	児童の情報や相談内容だけでなく、経過記録やショートステイ、一時保護、施設入所の履歴もCSV出力できること。	○		
9	検索、CSV出力	生年月日検索では範囲指定できること。	○		
10	検索、CSV出力	児童に紐づけられた家族、関係者全員をCSV出力することができること。			
11	検索、CSV出力	児童の年齢や福祉サービスの受給状況などから複合検索でき、検索結果をCSV出力できること。CSV出力時は、出力項目を任意に指定可能、且つ項目の指定内容が保存できること。			
12	住基連携	住民基本台帳との連携を行い、一度に児童と家族の基本情報の連携ができること。			
13	住基連携	連携時に児童から見た続柄に変更できること。	○		
14	住基連携	住民基本台帳に異動があった場合、自動的に画面に通知されること。また、異動内容の詳細が確認できること。	○		
15	住基連携	住民番号が登録されていない児童情報と住基情報とのデータの突合が容易にできること。	○		
16	児童情報	生年月日を入力すると自動的に現在の年齢と学年が表示ができること。	○		
17	児童情報	児童氏名(カナ)と生年月日が同じ児童データが登録されている際は自動的にチェックし注意を促すこと。	○		
18	児童情報	相談対象児童・保護者の氏名、カナ、性別、続柄、生年月日、電話番号、住所、世帯区分、福祉サービスの利用状況、生活状況等の情報を登録できること。	○		
19	児童情報	家族情報は共用できるものは児童情報から引用して登録できること。			
20	児童情報	家族情報画面から、児童や保護者などの世帯員へ画面遷移ができること。			
21	児童情報	児童情報に添付資料として電子ファイル(ワード、エクセル、PDF、写真等)を取り込むことができること。	○		
22	児童情報	通告などで児童の性別や年齢が不明の状態でも一旦登録できること。但し、統計帳票出力時にはチェックを行うこと。	○		

No.	分類	評価基準	必須	提案者記入欄	
				機能確認	備考
23	児童情報	児童の所属する小学校や中学校を選択すると、小学校区、中学校区も自動的に初期設定されること。	○		
24	児童情報	児童に対して複数の担当者の設定ができること。	○		
25	児童情報	児童、家族の住所、電話番号は3か所以上登録できること。	○		
26	児童情報	現住所や電話番号等、世帯共通の情報と、個人別の情報を分けて管理できること。			
27	児童情報	情報共有時、住基支援家庭について注意喚起できること。	○		
28	児童情報	きょうだい児童の家族情報、関係機関、ジェノグラムをコピーできること。	○		
29	児童情報	児童の出欠状況や発育状況をシステムの画面内で自動的にグラフ化できること。			
30	児童情報	出産予定日を登録できること。			
31	児童情報	児童情報を修正した場合、変更履歴が自動作成できること。			
32	児童情報	居所不明児童の管理と検索ができること。			
33	児童情報	世帯に対する支援の履歴を一覧に表示できること。	○		
34	ケース情報	ケース番号、受付日時、ケース担当者、相談経路、受付形態、相談種別、相談内容の管理ができること。	○		
35	ケース情報	ジェノグラム作成機能を有すること。	○		
36	ケース情報	対応(処理)の内容と処理日の管理ができること。	○		
37	ケース情報	経過記録(日時、行動区分、対応者、支援内容)の管理ができること。	○		
38	ケース情報	経過記録を共有する任意のきょうだいのケースを選択し、経過記録をコピーできること。また、コピー漏れ防止の機能があること。	○		
39	ケース情報	複数の経過記録の内容を画面上で一覧表示できること。	○		
40	ケース情報	作成中の経過記録を一時的に保存ができ、経過記録の一覧にて一時保存されたものであると判別できること。	○		
41	ケース情報	児童のショートステイ、一時保護、施設入所情報を時系列に管理できること。	○		
42	ケース情報	関係機関の管理ができること。	○		
43	ケース情報	終結日と終結理由の管理ができること。	○		
44	ケース情報	ケース情報をきょうだい等、他の任意の児童へコピーまたは移動できること。	○		
45	ケース情報	各種手帳の有無、障害等級、生育歴等の管理ができること。	○		
46	ケース情報	住民票発行制限が掛かっている世帯かどうか管理できること。 住民票発行制限の場合、ケース進行管理表とケース会議票およびCSVデータに住所は出力されないこと。			
47	ケース情報	福祉行政報告例にしたがった相談受付(相談経路)、相談内容(種別)、対応(処理内容)に関する情報の登録ができること。	○		

No.	分類	評価基準	必須	提案者記入欄	
				機能確認	備考
48	ケース情報	要対協に関わるケースについて、登録日付、虐待種別、重症度を登録でき、履歴管理ができること。また、検索ができること。	○		
49	会議情報	ケースに関して行われた受理会議やケース会議を時系列に管理できること。	○		
50	会議情報	会議の出席者(外部機関の出席者も含む)の管理ができること。	○		
51	会議情報	取り扱いケースの重症度や緊急度、次回見直し予定日を設定でき、通知表示されること。			
52	会議情報	相談種別、重症度、緊急度、援助内容(処理内容)を基に取り扱いケースを検索し、一括で会議対象の設定ができること。			
53	帳票	児童記録票、ケース会議票、ケース進行管理表はジェノグラム付きで出力できること。			
54	帳票	要対協ケースを対象とした、児童一覧表、ケース進行管理表を出力できること。			
55	帳票	アセスメントシートの様式は職員(管理者)が任意に差し替えることができること。	○		
56	帳票	対象児童に関わる過去全てのケース(終結済みも含む)の経過記録を時系列に出力できること。	○		
57	帳票	経過記録の概要一覧および詳細内容の出力ができること。	○		
58	帳票	ケースに関連する経過記録および会議情報、一時保護情報を時系列に出力できること。	○		
59	帳票	本年度終結予定(本年度18歳到達も含む)の児童の一覧表を出力できること。			
60	帳票	相談種別ごとに各行動区分の延べ関わり回数や会議回数を担当者ごとや全体として集計し、月報出力できること。	○		
61	帳票	送致書、転出先等への通知書が出力できること。	○		
62	帳票	システムから出力される全ての帳票へ自由に文字の追記、編集、図の挿入が行えること。			
63	統計	こどもの福祉と保健に関する状況報告に従った統計帳票(第1表、第2表、第4表、第5表)およびその内訳明細(児童名、ケース番号等)を出力できること。	○		
64	システム管理	ユーザーID、パスワードによる認証ができ、ユーザーは自分自身のパスワードを変更できること。パスワードはDB内でも暗号化して保存されていること。			
65	システム管理	管理者はユーザーの追加、変更、論理削除及び権限の設定が行えること。	○		
66	システム管理	システムの処理ごとにユーザーの使用権限を設定することができ、IDごとに使用できる処理を設定することにより、運用の制御が行えること。	○		
67	システム管理	元号、改元日等をマスター管理でき、今後の改元時にも職員によるマスター設定で対応できること。若しくは、保守の範囲内で対応できること。	○		
68	システム管理	ヘルプ機能があり、システム利用中に端末操作マニュアルの閲覧が行えること。			
69	システム管理	年度変わりに自動的に学年の進級処理がされること。また、校区設定により小学校から校区の中学校へ進学させることも可能なこと。	○		
70	システム管理	必要に応じ出力帳票のレイアウトを職員自身が簡易な操作で変更できること。	○		
71	システム管理	児童情報やケース情報画面に新たな管理項目を任意に追加できること。	○		
72	システム管理	端末IPアドレス、ユーザーIDや操作内容等をログに保存できること。いつどの職員が、どの端末から、どのような操作・処理を行ったのかを把握できること。	○		

No.	分類	評価基準	必須	提案者記入欄	
				機能確認	備考
73	その他	児童福祉機能サポートプランの作成ができること	○		
74	その他	厚生労働省が構築する「要保護児童等に関する情報共有システム」に提供する所定形式のCSVファイルの出力ができること。	○		
75	その他	制度や法改正等に対応可能なシステムであること。	○		